

AIでつくる、
わたしたちのよりよい未来

がんサバイバーシップ研究を
支援しています

がんサバイバーシップのための AI ハッカソン



AIを介してアイデアを形にする新しい研究開発のかたち

参加費
無料



がんとともに生きる
未来を支えるアイデアを形に



AIやデータの方で
社会に役立つ体験を



医療・リハビリ・看護・
情報・一般の方など
どなたでも参加OK!

2026

9.12 土

13:00 ▶ 17:00 (予定)

場所

国立がん研究センター 会議室

開催方法

現地参加 または オンライン (聴講のみの参加も可)

申込締切

8月28日(木) 17時までにお申し込みください



プログラム (予定)

13:00~13:10	開会の挨拶 本ワークショップの目的と流れを紹介します。
13:10~14:10	【講演①】 Googleサービスを活用したAI開発(TBD)
14:10~14:40	【講演②】 M.C.BOO様 (株式会社ヘラルボニー) ～見える障害と見えない障害、アートと音楽の力～
14:40~14:55	休憩(エクササイズ) リフレッシュして発想を広げます!
14:55~15:55	アイデア整理 テーマを決めて、アイデアを整理・発展させます。
15:55~16:40	ブラッシュアップ AIやデータの活用方法を考えながら、 アイデアをさらに磨き上げます。
16:40~16:55	発表&相互フィードバック チームごと発表! 参加者同士で 学び合い、良いアイデアを共有します。
16:55~17:00	閉会の挨拶 まとめと今後の案内をします。
17:00~17:30	交流会(希望者のみ) 参加者同士でつながりましょう!

みんなでブラッシュアップする成果物



研究開発マップを
研究支援AIツールに
ブラッシュアップ!!



参加について

現地参加の方へ

- 事前に動画視聴、自己紹介用スライドの作成をお願いします。
- 当日はパソコンをご持参ください。ネットワークは会場でご準備します。



オンライン参加の方へ

聴講のみの参加も大歓迎!
オンラインで気軽にご参加
いただけます。



医療・福祉
学生・社会人
どなたでも
大歓迎!

あなたのアイデアが、誰かの未来を支える力になります。
一緒に、新しい一歩を踏み出しましょう!

ファシリテーター

華井 明子 先生

千葉大学 大学院情報学研究院

作業療法士として緩和ケアリハビリテーションに従事後、
京都大学大学院で支持療法の研究に取り組み学位を取得。
現在は千葉大学大学院情報学研究院で、機械学習や大規模
言語モデルを活用し、がんサバイバーの生活支援を
データサイエンスの視点から研究している。

◆運営事務局(お問合せ先)
SaQRA:sakra_contact@ml.res.ncc.go.jp
※プログラムは変更になる場合があります。